

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	池田つむぐプロジェクト		
事業主体 (連絡先)	池田つむぐプロジェクトチーム		
事業区分	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	604,512 円 (うち支援金 :		458,000 円)

事業内容

今まで池田町に無かった大学生の活動を生み出しながら、大学生が持つ学術的な知や池田町以外の先進的事例の実践経験を活かしていくことが必要である。大学生を含む第3者の立ち位置でしかできない関わり方を住民の皆さんや行政などとして、産学官連携活動をめざし、ネットワークの構築していくことを目的に活動

- ・池田未来会議
- ・つむぐ講座
- ・広津地区での毎月のイベント
- ・子育てグループでの講師による講座・ワークショップ
- ・空き屋活用入門書の作成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今年度、新しく参加した学大生としてコロナ下でなかなか活動できない中で8名プロジェクトに参加して、イベントだけの参加も含めると15名の参加があった。3年間を通して100名以上の大学生が池田町に訪れ、池田町の魅力・課題を学んだ。

子育てグループ、広津グループは地域の方との連携も生まれ、広津地区では空き家の改装、子育てグループでは池田町の社会福祉協議会の主催の「ふるさとチャレンジ塾」で大学生企画を作るなど、継続的に活動を行う基盤もできつつある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

池田つむぐプロジェクトで今後も続いていく活動として広津地区の活動と子育てグループの活動があり、多くの関係人口、町民の方への活動の周知も進んだことを活かしながら大学生が関わり続ける仕組みを作っていく。また、地域の課題解決を今までの活動を踏まえながら、地域の主体となる方々と協力しながら活動を継続していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【未来会議写真】

【目標・ねらい】

- ① 地域課題の解決
- ② 地域を担う大学生の育成
- ③ 地域の中間団体として多くの主体をつなげる

※自己評価【 B 】

【理由】

池田町への活動の効果を目に見える形で残すことができなかったが多くの関係人口の創出、また今後も活動を継続など一定程度の成果は残すことができた。